

KANSAI ウォーク2025

9月27日 土
第2回大会 京都・長岡宮エリア
遷都…784年

【コース監修】北川 央
(九度山・真田ミュージアム名誉館長)

★MAP上の二次元コードでグーグルMAPをご覧ください。
★コース上の寺院・神社へおまいりされない方は、境内に入らず前をお通りください。

大会途中で棄権したり、救護を要する時は…



大会本部 (Central Site)
救護 (First Aid)

TEL

080-8506-5200

この電話は大会当日のみ有効です



スペシャルコース (約12km)

START 朝堂院公園 → 1 南真経寺 → 2 向日神社「さざれ石」 → 3 向日神社 → 4 元稻荷古墳 → 5 桓武天皇皇后陵 → 6 竹の径 → 7 寺戸大塚古墳 → 8 京都市洛西竹林公園 → 9 小畑川中央公園 → 10 榎原三ノ宮神社 → 11 榎原廃寺跡 → 12 来迎寺 → 13 物集女城公園 → 14 淳和天皇火葬塚 → 15 物集女車塚古墳 → 16 北真経寺 → 17 内裏公園 → 18 大極殿公園 → GOAL 朝堂院公園

ファミリーコース (約8km)

START 朝堂院公園 → 1 南真経寺 → 2 向日神社「さざれ石」 → 3 向日神社 → 4 元稻荷古墳 → 5 桓武天皇皇后陵 → 6 竹の径 → 7 寺戸大塚古墳 → 8 京都市洛西竹林公園 → 14 淳和天皇火葬塚 → 15 物集女車塚古墳 → 16 北真経寺 → 17 内裏公園 → 18 大極殿公園 → GOAL 朝堂院公園

START・GOAL 朝堂院公園



桓武天皇は延暦3年(784)、平城京から長岡京への遷都を行ない、延暦13年(794)に平安京に遷るまでの10年間、長岡京が我が国の首都となった。朝堂院は、早朝から出勤した高位の官人が決められた場所に座し、天皇の決裁を伺う場で、現在の国会議事堂にあたる施設。発掘調査で、朝堂院や大極殿院の跡から、難波宮で使われた瓦がたくさん出土し、長岡宮をいち早く造営するために難波宮を解体・移築したことがわかった。朝堂院公園、大極殿公園では、アプリ「AR長岡宮」を使って、再現された長岡京をスマートフォン端末で見ることができる。

3. 向日神社



写真提供：向日市

社伝によると、養老2年(718)の創建と伝え、長岡京遷都より66年古い。向日神(御歳神)、火雷神、玉依姫命、神武天皇を祀る。延長5年(927)に成立した『延喜式』神名帳には「向日神社」と記される。本殿は三間社流造(さんげんしゃながれづくり)で、室町時代の応永25年(1418)に造営が始まり、同29年(1422)に上棟された。国の重要文化財に指定され、明治神宮のモデルになったといわれている。境内にある13の建物は平成27年(2015)に、国登録有形文化財になった。

5. 桓武天皇皇后陵



長岡京を築いた桓武天皇の皇后・藤原乙牟漏(ふじわらのおとむろ、760～790)の墓。直径約65メートル、高さ約7メートルの円形。藤原乙牟漏は、藤原家の藤原良継の娘で、母は阿倍古美奈。宝龜5年(774)にのちの平城天皇を生み、桓武天皇即位にともない、延暦2年(783)皇后となった。延暦5年(785)にはのちの嵯峨天皇を生み、延暦9年(790)に31歳で崩御した。

8. 京都市洛西竹林公園



園内に建てられた和風仕上げの竹の資料館は、展示室、茶室「竹風軒」を備え、テラスからは生態園が一望できる。展示室には、エジソンが1882年にマダケをフィラメントとして作った電球の復元模型をはじめ、茶筌や剣道用竹刀、尺八など、竹に関する資料が数多く展示されている。また、竹製品等も販売されている。生態園(5000㎡)は回遊式庭園で、各地から110種におよぶ竹・笹が集められ、竹林美の自然観賞と竹の生態が観察できる。子どもの広場は、小さな子どもでも安心して遊べる複合遊具があるほか、自然の地形や竹・水などを使って遊ぶこともできる。入場無料。

12. 来迎寺



向日市物集女町(もづめちょう)の来迎寺(らいごうじ)は、寛正年間(1460～66)錦空によって開創された西山浄土宗の寺院。平安時代の作である阿彌陀如来坐像、薬師如来坐像は、いずれも明治元年(1868)に廃寺となった光勝寺から遷されたもので、ともに向日市指定文化財。京都洛西観音霊場(洛西三十三所観音霊場)第32番札所。境内には、古墳の石棺の蓋を転用した種字曼荼羅板碑や貞和4年(1348)の銘を持つ宝篋印塔がある。

15. 物集女車塚古墳



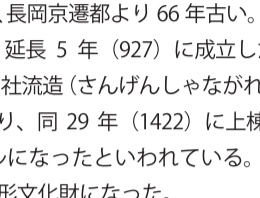
古墳時代後期(6世紀中頃)の前方後円墳。全長約46メートル、後円部、前方部とも二段築成で、墳丘にはごく一部に葺石が施され、埴輪が並べられていた。埋葬施設は「畿内型」の「横穴式石室」で、形がきれいに残っていることから、毎年、内部が一般公開されている。石室奥壁に沿って置かれた石棺は「組合せ式家型石棺」で、大阪府と奈良県の境にある二上山で採石された凝灰岩製の板材を組み合わせて作られている。石室の構造や馬具、ガラス製の装飾品、金属製の冠の断片といった副葬品から、埋葬者は6世紀前半に弟国宮(おとくにのみや)をつくった継体天皇(大王)と縁の深い人物と想定されている。

1. 南真経寺



日蓮宗の寺院で、鎌倉時代末期、日蓮の弟子で、日蓮の遺命により京都で布教を行なった日像によって創建された。南・北真経寺は、もとは一つのお寺で、現在の北真経寺の場所にあったが、檀林(僧侶の学問所)の開校に伴い、現在の場所に南真経寺が建てられ、地域住民の信仰の場となった。江戸時代初期に建立された本堂や開山堂は、京都府指定文化財となっている。

6. 竹の径



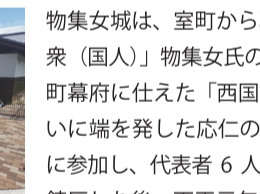
全国で良質なタケノコの産地として知られている向日市北西部の向日丘陵にある竹林。この竹林の景観を保全するため、環境整備(放置竹林対策・不法投棄防止)を行ない、市特産の孟宗竹を使って平成12年度から整備されてきた。風が起す笹音や鳥のさえずりをBGMに、木もれ日や香りを楽しむ「癒しの散策路」として親しまれ、国土交通省の「手づくり郷土賞」を受賞し、日本ウォーキング協会「全国歩きたくなるみち500選」にも選ばれている。

9. 小畑川中央公園



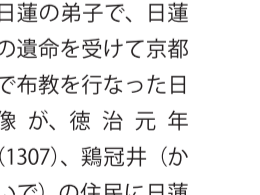
京都市西京区にあり、小畑川の岸辺に整備されている広々とした緑地公園。野球場とテニスコートが併設されている。※公園内にお弁当など飲食可能スペースあり。通り抜けせず、公園右側の遊歩道を歩きます。

13. 物集女城公園



物集女城は、室町から戦国時代に当地域一帯を本拠とした「国衆(国人)」物集女氏の居城と考えられている。物集女氏は、室町幕府に仕えた「西国被官衆」の一員で、足利義政の後継者争いに端を発した応仁の乱後に、桂川右岸一帯の「惣国」の結集に参加し、代表者6人の1人になった。織田信長が山城地域を鎮圧した後、天正元年(1573)に細川藤孝が信長から桂川西岸一帯の土地に対する多種の権利を一元的に支配する「一職」を与えられ、国人たちの領土を安堵した。安堵を受けた国人たちは、勝龍寺城(長岡京市)の藤孝のもとに御礼に参上したが、物集女氏の当主である「物集女忠重入道宗入(疎入)」は代々の自分の領地であり、「参上する謂われはない」と拒絶したため、藤孝の重臣等に勝龍寺城下に誘い出され、殺害された。以後、物集女氏は衰退したと伝えられる。

16. 北真経寺



日蓮の弟子で、日蓮の遺命を受けて京都で布教を行なった日像が、徳治元年(1307)、鶏冠井(かいで)の住民に日蓮宗の教えを広め、真言宗の寺であった真言寺の僧実賢も日蓮宗に改宗して、寺号を「真経寺」と改めた。承応3年(1654)には、僧侶の学校である「鶏冠井檀林(かいでだんりん)」が開かれ、真経寺は南と北に分けられて、南真経寺が現在の場所に移った。明治8年(1875)、明治維新により学校制度が変わり、檀林が廃止され、今は地域の人々の祈りの場となっている。本堂は、もとは檀林の講堂として使われた建物で、京都府の登録文化財となっている。

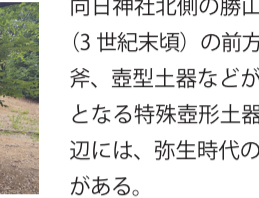
協力 (特非) 関西シティプロモーション、スーパースポーツゼビオ

2. 向日神社「さざれ石」



向日神社参道に国歌「君が代」の歌詞にも登場する「さざれ石」が置かれている。さざれ石は、石灰岩が雨水に溶解することで、石灰分を含んだ水が粘着質の強い液になり、地下で小石を集結して、次第に大きくなり、やがて地上に現れ出て、長い年月を経るうちに、「君が代」の歌詞のように、石蔵となって表面が苔むす状態になるという。

4. 元稻荷古墳



向日神社北側の勝山公園内にあり、古墳時代前期初頭(3世紀末頃)の前方後円墳で、全長は約94m。刀剣類、斧、壺型土器などが出土し、前方部からは埴輪の原型となる特殊壺形土器や特殊円筒埴輪も発見された。周辺には、弥生時代の高地性集落と考えられる北山遺跡がある。

7. 寺戸大塚古墳



4世紀後半に造られた全長98メートルの前方後円墳。前方部は戦前に調査され、石室が見つかり、石室内から銅鏡などが出土した。後円部は昭和42年(1967)と43年に調査され、石室内から三角縁神鏡が出土した。向日丘陵の数少ない前期古墳として重要である。

11. 榎原廃寺跡



榎原廃寺は、白鳳時代(645～710)に創建され平安時代中期に廃絶した古代寺院。昭和42年(1967)に行なわれた発掘調査により八角塔と中門の遺構が検出され、四天王寺式の伽藍配置であったと推定された。平成9年(1997)の調査でも金堂と思われる建物の基壇や北回廊跡を検出し、寺域のおおよそが推定できるようになった。昭和46年(1971)に「榎原廃寺跡」として国指定史跡となり、現在では史跡公園として整備されている。

14. 淳和天皇火葬塚



淳和(じゅんな)天皇は、長岡京を築いた桓武天皇の第3皇子で、母は藤原百川の娘旅子。兄の嵯峨天皇の後を継いで皇位を継承し、嵯峨天皇の第1皇子の仁明天皇に皇位を譲った。在位中は、政治改革を行なうとともに、『日本後紀』の編纂、『令義解』の作成を行ない、承和7年(840)に55歳で死去。遺言により火葬にして京都市大原野の西山に散骨された。ここは、天皇を火葬した場所とされる。

企画運営 (株)ムーヴ エンタテインメント事業部

主催 産経新聞社

特別協賛 LION

全大会後援 歴史街道推進協議会

第2回大会後援 京都府、向日市、京都府教育委員会、向日市教育委員会、(公社)京都府観光連盟、向日市観光協会、阪急電鉄(株)